

第1日 6月4日(土)

午前の部(10:20-11:55) (研究発表30分 質疑応答15分)

研究発表

- ① 田中一孝(大阪体育大学非常勤講師) (10:20-11:05)  
プラトンにおいて真理の模倣はありえるのか?  
—『ソピステス』篇における模倣術の議論を起点に
  
- ② 古澤香乃(首都大学東京大学院) (11:10-11:55)  
『イーリアス』第20巻に於けるダブレットの叙述機能  
—対アイネイアース戦と対ヘクトール戦—

※JASCA編集委員会

午後の部(13:30-16:45)

- ③ 福本 薫(筑波大学大学院) (13:30-14:15)  
紀元前7世紀アッティカの葬礼美術  
—《メネラオスの台座》の神話表現を手がかりに
  
- ④ 戸祭哲子(日本民俗音楽研究所研究員) (14:20-15:05)  
プラトン『イオン』のムーシケー論
  
- ⑤ 西村昌洋(龍谷大学非常勤講師) (15:10-15:55)  
ウィクトリア女神祭壇撤去事件再考
  
- ⑥ 筒井賢治(東京大学准教授) (16:00-16:45)  
アテナゴラスにおける「オルフェウス教」伝承

※懇親会(17:30-19:30)

於 静岡大学生協第1食堂

(会費 5000円 学部・大学院生 3000円)

(付記 委員会は6月3日午後6時より、  
静岡市産学交流センター(B.nest)7階小会議室1にて行います)

第2日 6月5日(日)

午前の部(9:40-11:45)

研究発表

- ⑦ 文 景楠(東京大学大学院) (9:40-10:25)  
「質料を伴わず形相を受容すること」について  
-『デ・アニマ』第2巻12章におけるアリストテレスの感覚論-

※総会(10:30-11:00)

- ⑧ 小見山直子(名古屋大学博士研究員) (11:00-11:45)  
テオクリトス第七歌におけるリュキダスの二面性

※書評委員会

午後の部(13:30-16:45)

- ⑨ 小堀馨子(成城大学非常勤講師) (13:30-14:15)  
ローマ人の宗教観「religio」の意味の多層化
- ⑩ 早瀬 篤(京都大学非常勤講師) (14:20-15:05)  
定義の優先性と事例による回答(『テアイテトス』146c-147c)
- ⑪ 千葉 恵(北海道大学教授) (15:10-15:55)  
アリストテレスにおける存在の<sup>テロス</sup>完成態と<sup>モルゲン</sup>実働態による相補的分析
- ⑫ 長田年弘(筑波大学准教授) (16:00-16:45)  
奉納浮彫としてのパルテノン・フリーズ

※編集委員会(17:00-19:00) 人文学部B棟207室